

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域で暮らせるよう「地域の中で地域と共に生きる」をモットーに、事業所独自の「笑顔・挨拶・掃除」を基本に信頼される施設作りに努めるを理念とし、毎月の目標を決めて実践している。家族の方の目に触れやすいようにしている。	玄関には「笑顔・挨拶・掃除」の当施設の理念が掲示されており、室に入ると、入所者がリビングの机を囲んで和やかに歓談をされていた。	施設の運営の基本は、理念がしっかりしていること、それを職員全員が共有していることにあります。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の各行事や催しの参加を行い、又、ボランティアの受け入れ等の交流を深めている。	苑長が区長をしているので地域の行事には、積極的に参加している。地域の方がボランティアとして、押し花、ダンス等で協力いただいている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方や法人内のコスモスの入居者等との交流会を行うことで認知症の方の理解をしてくれている。行事の時には援助支援や見守りなど快く引き受けられる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回行い、入居者の生活状況・事業所の近況を報告すると共にサービスの提供について話し合いを行なっている。各委員や家族の意見を参考にし、サービス向上に取り組んでいる。会議の中で外部評価の開示も行なった。今年度は昼食の試食会を行うことで入居者とのコミュニケーションも取れている。	2か月に1回定期的に行われ、議事録も整備されており、議事内容も詳述されている。サービス向上のための討議が行われている。	運営推進会議は、重要ですので、内容の充実した会議運営をお願いします。

5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>包括支援センターの職員等に相談に応じてもらっている。又、運営推進会議の際には担当者のアドバイスなどももらっている。</p>	<p>地域包括支援センターの職員には、運営推進会議にも出席して貰い、アドバイスをいただくなど、連携を深めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>「カラダもココロも自由の施設です」「身体拘束ゼロ誓言」の施設として職員一同理解している。個々の尊厳と人権を守るために拘束をしないケアを行っている。又、玄関等の出入り口の施錠はしない暮らしを開苑以来継続している。</p>	<p>IS09001の規定に基づき、身体拘束ゼロ宣言を、法人として行っており、当施設は開苑以来、出入口すべて施錠を行っていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>IS0に身体拘束の規定があり、虐待についての話し合いを行い常に意識向上に努め、日常業務の中で管理者、職員共に防止についての思いを共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>本年度の研修会に参加した。その資料を用いて報告会を行なった。積極的に活用には至っていないが、その意は志している。</p>		

9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所契約については重要事項説明やその他入所前における施設の取り組みやケアの内容を話す機会を設けている。又、重要事項については適時改正や見直しをしている。</p>		
10	<p>6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>法人の福祉サービス相談委員会を2ヶ月に1回行い苦情や相談を受けている。又、家族とは常にコミュニケーションを図り苦情や気づいた点や要望など意見や質問等にも明確に対応し信頼関係の中で行なわれていると思っている。来苑カードにはメモ欄があり、アンケートも実施している。</p>	<p>法人の家族会は月1回開催される。出席率も高く、当施設の家族も出席するので、意見を出してもらいサービス改善に努めている。</p>	
11	<p>7 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>利用者の実状や日々のサービスに対する意見や提案を聞く機会や話し合いを設け職員の声を業務の中に反映し働きやすく意欲ある職場作りをしている。又、職員の業務を把握している。</p>	<p>寮母会議、ヒヤリハット会議、ISO勉強会等の会議のなかで、職員の意見を聞き、業務に反映している。</p>	<p>職員あつての施設ですから、職員の意見に充分耳を傾けてください。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>年2回実施する自己評価表により、各職員の勤務上の把握をしている。又、資格手当等の見直しや病休・産休など必要に応じての休暇、健康診断など安心して働けるよう職場環境は整っている。</p>		

13	<p>○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>業務やケアに必要な勉強会を行い、知識や技術の向上に努めている。又、外部研修へも適時参加し、法人内では資格取得のための勉強会も行なわれている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域のグループホームや他施設の職員の見学等の受け入れを行いお互いに情報提供を行ったりと交流を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。また老社協のグループホーム研修会へ参加し、常に多くの情報を経て質の向上に努めている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人からの希望よりも家族やケアマネの紹介で利用する方がほとんどであるが、入所に至るまでは本人に逢って施設の説明をしたり、顔馴染みになる安心して頂く関係作りをしている。又、本人の意志や思いを受け止めてあげる努力をしている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所される前に必ず施設の見学を行なってもらっている。家族の立場に立って不安や戸惑いを受け止め施設の利点や本人にとってのメリットなど話し合う機会を設け、信頼関係を早期にて築けるように努力している。</p>		

17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談や入所希望があった時、入所できない場合他のサービスの利用（特養のショートステイ、ヘルパーを使って頂く）や家族の実情や要望をもとに安心できる対応をしている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者の各々の能力に合わせた支援の中で介護される立場でなく喜びや楽しみの場を共有し、お互いを向上させ、家族の一員として関係を築いている。又、職員が手助けをしてもらうこともあり、支えあっている。</p>		
19	<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人のペースに合わせ、家族と職員で「共に支える」関係を築き「支援している、されている」という一方的な関係を防いでいる。又、家族と一緒に過ごす時間を大切にするよう心がけ、要望や相談などしながら連絡を密にしている。</p>		
20	<p>8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>特養に移った方に会いに行ったり、本人の生活歴を大切に今まで培ってきた関係を断ち切らないように美容院に出かけたり、知人の訪問などで時には個人の居室にてゆっくり過ごしてもらっている。又、本人からの手紙の発送介助などの支援に努めている。</p>	<p>重度になった場合、特養に移るケースが多いので、特養に会いに行き、支援に努めている。また馴染みの場所へのドライブ等も行っている。</p>	

21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>共に暮らす楽しみを共有して頂くために助け合い支え合えるよう行事参加や日常の中で常に顔を合わせて会話が出来るように支援している。又、大正琴など同じ興味のある方は共同で出来る機会を作っている。本年は、干し柿・干し大根・かき餅作りなど共同作業に取り組んでいる。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>特養に入居されたお客様には常に訪問したりしている。家族に対しては、手紙やTELなど行い、又、合同家族会での声掛けなど関係を断ち切らない交流を図っている。</p>		
<p>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
23	<p>9 ○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>その人らしい（自由にわがままが云える事）生活できるよう希望や意向の把握に努めている。本人の望む良い暮らしができるよう話し合いを持ち意に向けた自由な生活を提供している。</p>	<p>食事の時間については、本人の意向を尊重して、自由に摂って貰っている。（例：朝食）</p>	<p>入所者の満足度をいかに高めるか、業務での工夫をお願いします。</p>
24	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人の能力に合わせ今までの暮らし方や生き方を尊重し、プライバシーに配慮しながら自分らしく暮らせることを支援している。新しい情報等は皆で申し送り、職員が共有している。</p>		

25	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの行動と一日の流れを総合的に把握し、職員全員が同じ方向で「できること」や「解ること」を自覚し受容する事で暮らしの状況を把握し、個別ケアに記録している。</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族の訪問時や月に一度開かれる家族会で必要に応じてケアの目標やあり方を話し合う機会を持つと共に希望や意向の把握に努めている。3ヶ月～6ヶ月の見直し時、本人との普段の生活の中での新しい情報・変化等を取り入れプランに反映し、立案している。</p>	<p>モニタリングを行う際の書式を作り、援助の現状から、今後の取組について、どうあるべきか、検討しやすい方式を導入している。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>事実やケアの気づきをあるがままに個別に記録し、職員で情報を共有している。又、ケアの必要性を把握し、スタッフで話し合い、ケアプラン、又、申し送りノートに自由に記録している。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の状況に応じて通院支援や外出支援をしている。他部署との交流も数多く、コスモスやデイサービスにも行っている。又、託児所の子供達とのお楽しみの交流会は特に笑顔の多い時間となっている。</p>		

29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>安全で豊かな暮らしが楽しめるようボランティアによる訪問、学校関係の学生の訪問やボランティアも受け入れている。又、地域の行事参加の時には見守りや介助を快く協力してもらっている。</p>		
30	<p>11 ○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医の往診が月2回ある。緊急時においても適切な医療が受けられている。又、家族の希望による専門外の他病院への受診等も紹介によりスムーズに連携がとれている。又、家族と一緒に通院の介助も行なっている。</p>	<p>家族アンケートで「サービスを受けて、健康面、医療面、安全面で心配な点はないか」の質問に対して、全員が心配ないという回答だった</p>	<p>優れた主治医に恵まれていますので、その点を入所者・家族によく理解して貰って下さい。</p>
31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>併設の特養のNSとの連携が取れているので緊急時には適切な対応ができています。又、必要に応じて入居者の身体状況を相談しながら一人ひとりの健康管理や医療支援を行なっている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は担当NSや主治医との情報を蜜にもらっている。早めの退院の要望なども直接主治医に話している。お見舞いや洗濯物を取りに行く。顔を合わすことで安心してもらう関係作りをしている。</p>		

33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用開始の時に重度になった時の結末に向けた話し合いを行なって、家族の確認の書類を交わしている。重度化した場合、現はターミナルケアは実施していない。家族の意見を聞きながら主治医との話し合いの中で特養への移動等を話し合っている。</p>	<p>G・Hでは終末期対応は、体制上無理があるので、その場合特養や医療機関への移動が必要となる。家族との話し合いが行われている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的には行っていないが勉強会を行い、職員全員の意識を高めている。又、急変時には適切に対応できている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年間計画に沿って毎月1回の避難訓練を実施している。法人が地域の避難場所になっているため地域の方の協力も得られている。又、緊急連絡網の実施訓練も兼ねて行っている。</p>	<p>月1回の防災訓練の他、無断離設の捜索訓練年2回、消防署指導の総合訓練（地元も参加）年1回実施している。</p>	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個別の性格などの把握を行い、日常ケアの中で言葉遣いや視線に気をつけている。排泄時等は他者に聞こえない配慮をするなどで職員全員でプライバシーを確保している。</p>	<p>入浴は、個浴なので、2人の交互入浴に職員1人が付き、安全に配慮しながら入浴を楽しんで貰っている。排泄はチェック表で、トイレ誘導を行いオムツゼロを実現している</p>	

37	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>毎日の洋服や食事・飲みものなど本人が選べるようにしている。又、思いや希望をくみ取り、本人が納得し、喜びにつながるような思いを引き出せる支援をしている。</p>		
38	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基とするスケジュールがあるが能動的に常に一人ひとりに合わせた生活パターンで個々のペースに合わせて本人の思いや希望を優先に支援している。時には職員ペースになる時もあるので気をつけ、その人らしい一日で過ごしてもらっている。</p>		
39	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>身だしなみやおしゃれは本人の状態の安定と生活意欲つながるので本人の好みや意向、持っている力を活かせるように支援している。又、日中や夜間の着替えの着衣が乱れている場合は、さりげなく声かけにて対応している。</p>		
40	<p>15 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事は母体法人からの給食があるが、盛り付けはGHで行う。週一回の選択食で選べる体制があり行事食についても対応できている。入所者の好みや希望を聞いて栄養士に献立に取り入れている。又、準備や片付けを一緒に行うことにより、その人の能力に合わせた力を活かしている。</p>	<p>月1回の法人の給食会議で、G・Hの入所者の嗜好を反映した献立作りをと要請している。昼食は、入所者と職員と一緒に食事している。</p>	

41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>法人栄養士による献立により栄養が片寄らないようにバランスのいい食事を提供している。又、一人ひとりの好みや習慣も大事にしている。水分量も把握できている。又、おやつ時の水分補給は、コーヒー・紅茶等のお好きな飲み物を提供している。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後のうがいや義歯の手入れの声かけ等、個々に合わせ介助を行なっている。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンにより個々の対応が出来る。昼夜を通してリハビリパンツ・パットの使用者もいるが問題ない。又、必要物品の購入支援もしている。</p>	<p>排泄チェック表の活用により、オムツをしなないケアを行っている。順調に実施されている。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>予防策として毎日の歩行訓練や水分補給に心がけ、なるべく薬に頼らない働きかけに取り組んでいる。</p>		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ヒノキの浴槽で3回/週を目安に状態に合わせた入浴を行なっている。又、気の合った人同士で入ったり、歌謡曲を流したり、柚子湯やバラ湯など季節を楽しんでもらうなど工夫をしている。入浴拒否の方には再度の声かけに可能。又、無理に進めることはしない。</p>	<p>週3回の入浴、そしてヒノキの浴槽で、香りが楽しめる入浴となっている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>就寝時間は自由で個別。本人の自然なリズムで安眠できるよう日中の活動を促し、その時の状況で昼寝や早目の就寝など希望に添える睡眠や休息ができています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>飲み忘れや誤薬を防ぐ為に職員間で常に話し合い一人ひとりが服用する薬を理解している。服薬介助は飲み込むまで確認している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の能力に合わせ楽しみや趣味など力を出せる場面を作り役割が負担にならないようにし、潜在している記憶を最大限に活かして支援している。</p>		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日には前庭でのリハビリ体操や散歩、又、美容院や買い物など出かける楽しみの中で気分転換などの支援を行なっている。市内から外れていることもあり日常的には外出はしていない。併設施設での交流は常に行われている。家族との外出も常に自由としている</p>	<p>併設施設のコスモスとは、交流が活発に行われている。外出は、希望に応じて、市内の祭りや、トキハでの買物等である。</p>	<p>職員の体制上外出行事は組みにくいと思います。が、家族の協力もいただき、増やす努力をお願いします</p>
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理の出来ない方が多く、家族が持たせていない方もいる。日常的には使うことはないが、外出時には自由に使えるようにお小遣いを持ち支援している。</p>	/	/
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>プライバシーに配慮しながら、本人の読んだり書いたりする力を活かし支援をしている。又、電話は日常的には全員ではないが、かかったり、かけたり出来るので外部との交流も出来ている。</p>	/	/
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>年間を通して生花を生けている。又、日常の中で皆の写真や本や雑誌等を職員が持って来て楽しめるようにしている。共用スペースにおいては家庭的な雰囲気の中でお雛様や五月人形も飾り季節を感じられるように配慮している。常に室温や換気に気を配っている。</p>	<p>調査の時、リビングルームには、豪華なお雛様が飾られてあった。常に季節感に溢れた共用空間作りに配慮されていることを感じた。</p>	

53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内のソファは常に自由に使用でき、お互いに気の合った同士が過ごせるように居場所の工夫ができています。和室には「掘りごたつ」が用意されている。</p>		
54	<p>20 ○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には家族の写真や亡くなった夫や家族の位牌があり、本人の心を癒す居心地良い場所の工夫をしている。毎朝、4名の方が職員の支援で「お茶灯」し、本人の安らぎの時間を提供している。又、布団やダンスも使い慣れたものを使っている。</p>	<p>居室では、仏壇に「お茶灯」がお供えしてあった。職員が居心地良い居室への配慮を行っている姿を感じた。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個人の生活能力に合わせて家具などの配置を考えている。なるべく自立した生活が出来るよう居室の入り口に手作りの表札もかけている。又、ホール内はバリアフリーにしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない